

第37回都市公園等コンクール 国土交通省都市局長賞 受賞作品の概要

特定テーマ部門（これからの時代に対応した公園利用の取組み）

受賞作品：コロナ社会における新たな公園運営

対象施設：花フェスタ記念公園、ぎふ清流里山公園、養老公園、岐阜県百年公園、
世界淡水魚園、各務原公園

所在地：岐阜県可児市、美濃加茂市、養老町、関市、各務原市

受賞団体：岐阜県

ドライブインシアターやフード・デリバリー・サービスなどの「非接触利用の促進」。コロナに関するクイズやステージショー等の実施による「啓発活動」。人気遊具の事前予約制の導入や夜間の有効活用などの「混雑緩和対策」。オープンカフェの設置や分散型の屋外イベントの実施などの「屋外空間の活用」。の4つの視点による公園運営により、コロナ禍でも各公園の魅力を向上させた全公園で展開できる汎用性のある施設管理・運営が高く評価された。



第37回都市公園等コンクール (一社)日本公園緑地協会会長賞 受賞作品の概要

設計部門

受賞作品：東経の森 水環境再生の森づくり

対象施設：東経の森

所在地：東京都国分寺市

受賞団体：株式会社グラック、東光園緑化株式会社

東京経済大学国分寺キャンパス内の国分寺崖線の資源を活かし、森の環境保全機能の回復と、潤いのある水と緑の風景を顕在化させるデザインを提案した設計である。地域の環境保全や住民の自然とのふれあいの場の提供など、地域に貢献する緑地へと再生した設計が評価された。



第37都市公園等コンクール (一社)日本公園緑地協会会長賞 受賞作品の概要

設計部門

受賞作品：池袋西口公園 GLOBAL RING

対象施設：豊島区立池袋西口公園

所在地：東京都豊島区

受賞団体：三菱地所設計 ランドスケープ・プラス共同企業体、
(構成団体 株式会社三菱地所設計、株式会社ランドスケープ・プラス)
豊島区

池袋西口公園の改修プロジェクトの設計である。らせん形リング、野外劇場、インフォメーションカフェにより構成され、施設全体を利用した映像と光・音・水のデジタルアートが公園に一体感をもたらし、世界に新たな文化を発信する魅力と活力に溢れた公園の設計が評価された。



設計部門

受賞作品：だれもが遊べる児童遊具広場

対象施設：都立砧公園

所在地：東京都世田谷区

受賞団体：株式会社エーシーイー、東京都建設局

公園利用者の多様なニーズに応え、様々な立場の来園者が快適に利用できる公園環境を目指した設計である。車いす利用者や体幹の弱い子ども、視覚障がいのある子どもなど、だれもが共に楽しむことができる遊具広場の設計が評価された。



施工部門

受賞作品：平和中央公園リニューアル整備事業

対象施設：平和中央公園

所在地：神奈川県横須賀市

受賞団体：宇内建設株式会社、株式会社博展、横須賀市

高台にある砲台跡地の公園のリニューアル工事である。効率・効果的な工事を行うため ICT 土木を採用し、高低差のある園内を自由に往来出来るバリアフリー化、遺構の文化財保護、複数設けた眺望ポイント、四季を感じる色とりどりの植栽などの施工が評価された。



第37都市公園等コンクール（一社）日本公園緑地協会会長賞 受賞作品の概要

材料・工法・施設部門

受賞作品：上海横浜友好園の復元
対象施設：本牧市民公園
所在地：神奈川県横浜市
受賞団体：横浜市環境創造局、株式会社山手総合計画研究所

老朽化により閉鎖していた、上海横浜友好園の中国江南市様式の庭園と建築の復元設計である。国際交流事業を利用して設計協議を行い、安全性を確保した上で材料を工夫することで、当初からの中国伝統技法と意匠を継承したことや中国的な景観に合う植栽などの設計が評価された。



管理運営部門

受賞作品：小菅ヶ谷北公園における里山環境再生の取組
対象施設：小菅ヶ谷北公園
所在地：神奈川県横浜市
受賞団体：横浜市環境創造局南部公園緑地事務所、
奈良・生駒植木共同事業体
（構成団体：奈良造園土木株式会社
生駒植木株式会社）

横浜に残された貴重な樹林地の管理運営である。

「里山環境が維持できる仕組みを作る」ことを目標に、効果検証と見直しを行いながら、維持管理を行った結果、里山環境の向上と生物多様性の向上が見られたことが評価された。



特定テーマ部門（これからの時代に対応した公園利用の取組み）

受賞作品：医学と連携した都市公園の活用事業の検討
対象施設：新沢千塚古墳群公園
所在地：奈良県橿原市
受賞団体：橿原市、奈良県立医科大学 MBT 研究所、
株式会社日建設計総合研究所

コロナ禍の市民のライフスタイルや公園に対する価値観の変化を踏まえ、医学分野と連携した「健康アドバイス提供サービス」と「公園施設の混雑度見える化サービス」を検証し、都市公園の新たな機能と官民連携事業の実現に向けた示唆を得た取組みが評価された。



第37都市公園等コンクール (一社)日本公園緑地協会会長賞 受賞作品の概要

特定テーマ部門（民間活力導入事業等の取組み）

受賞作品：横浜動物の森公園における公民連携事例

対象施設：横浜動物の森公園

所在地：神奈川県横浜市

受賞団体：横浜市環境創造局、株式会社フォレストアドベンチャー、
有限会社パシフィックネットワーク

都市公園の森に新たな楽しみ方や賑わいをもたらすために Park-PFI 制度で設置した、子供から大人まで楽しめる樹上でのアスレチック施設や MTB 等で走ることのできる樹林内の多目的コースで、公園の魅力をより増大させている公民連携による取組みが評価された。



第37回都市公園等コンクール 審査委員会特別賞 受賞作品の概要

設計部門

受賞作品：むさしのエコreゾート広場空間

対象施設：むさしのエコreゾート広場空間

所在地：東京都武蔵野市

受賞団体：株式会社建設環境研究所、武蔵野市、水谷俊博建築設計事務所

ごみ処理施設「武蔵野クリーンセンター」と、旧処理場の一部をリノベーションした環境啓発施設「むさしのエコreゾート」をつなぐ役割と共に、市民の憩いやイベント、環境学習のフィールドとしての機能を持つ「むさしのエコreゾート広場空間」の設計である。

メインの大きな「芝生広場」と、市内の境山野緑地から苗木を移植し武蔵野の林床を再現する「どんぐり広場」を配置し、周辺からの円滑なアクセスに配慮した動線計画や既存樹木を極力残すための舗装、階段等の細部にこだわった設計が評価されたことと、ごみ処理場の公園化というその後の世界を展開していることが新しい視点でももしろいと評価され、審査委員会特別賞に選出された。

